

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山富田校			
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様の事を十分に理解し、特性に応じた専門性のある支援を実施している点	・定期的なカンファレンスや毎日の情報共有を徹底し、お子様に合わせた支援をどの指導員でも実施できるよう努めています。	・カンファレンスの強化やお子様の特性理解についての研修受講をより積極的に行うことで支援の質の向上を図ってまいります。
2	・毎回保護者様に支援場面を見ていただけるため、療育後のフィードバックで日頃のお子さんの様子や気になる姿について直接お話を伺い、情報の共有や、共通理解が図れる点	・保護者様と同じ方向を向き支援方法を一緒に考えたり成長を喜んだりできるよう、フィードバックでは、日々のご家庭や園での様子を伺いながら、取り組みの結果だけでなくその過程におけるお子さんの反応の細かな変化や頑張りをお伝えするようにしている。	・フィードバック時以外にも気軽にお話しいただきやすい雰囲気づくりや関係づくりを目指す。また、ご要望に応じて保育園や幼稚園をはじめとする通所園への訪問など、お子さまの成長を各機関とも連携をとりながら支援していく。
3	・清潔感のある環境	・掃除や消毒、環境整備などお子様が安心して利用できるように徹底しております。	・見えない箇所でも整理整頓を心がけるなど、職員一人一人が安全で清潔な環境整備について意識しております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングの開催ができていない点	・職員の人員不足や日程の調整がつきにくいことで集客が難しい。	・定期的に実施ができるよう見通しを立て、人員調整や研修の受講を行い、年間のスケジュールに組み込んでいく予定。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域と活動する機会がないこと	・地域との交流に関して、ご利用者様や地域の方々のニーズの把握が出来ておらず、活動内容が定まらない。	・保健センター等への聞き取りやご利用者様へのアンケート実施等の方法を通して調査を行い、実現に向けて取り組みを進めていく。
3	・食事や排せつなど、生活動作訓練の実施が難しい点	・1時間の個別療育のため、生活動作を伴う支援に限りがありますが、可能な範囲で生活動作訓練ができるように、個別支援計画に導入しながら取り組んでいます。	・生活に必要な動作の部分的訓練においては、支援を継続します。また、保育園や幼稚園などの集団生活に属していないお子様に対しては、必要となる生活動作の獲得に向け、日中支援型の事業所などもご案内しています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山富田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 1

回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		1				人員配置基準は満たしておりますが、支援場面に応じた職員配置の在り方について、引き続き見直しと工夫を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1				支援内容や専門性がより分かりやすく伝わるよう、職員の研修や情報共有を強化し、個々の特性に応じた支援の充実に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			1			現在実施予定はありませんが、今後事業所内で検討を重ねてまいります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1			現在実施出来ておりません。今後開催に向けて準備を進めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		1				職員一人ひとりが共感的な関わりを意識し、子ども・保護者の思いに寄り添った支援の充実に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1			現在実施出来ていません。今後開催が出来るようになりましたら周知させていただきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。		1				支援の質や内容について継続的に見直しを行い、より満足いただける支援の提供に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山富田校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に合わせて、パーティションを使用しスペースの調整を行っています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		ガイドラインに沿った人員配置基準を満たしています。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	出入口が会談となっているが、生活空間は段差をなくした環境となっています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動無いように合わせて、スペースの調整をしています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援の部屋を3つ設定しています。					
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員での情報共有を行い、業務改善に繋がっています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	12月開所のため、現在実施中です。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		気付いたことは職員同士で意見を出し合い、業務改善に繋がっています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	12月開所のため実施がありません。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に法人内の研修に参加しています。今後は外部研修にも参加予定です。					
適 切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所のHPに公表しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントは随時行い、ご本人、保護者様の要望を聞いて作成しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成する際に支援会議を行い、指導員も情報共有をしています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報共有し、計画に沿った支援を行っています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所で決められたアセスメントシートを使用しています。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿ってご本人、保護者様の要望を踏まえて、具体的な支援内容が記載されています。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当指導員だけではなく全員で相談し合いながら行っています。					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	指導員同士で意見を出し合ったり、支援記録を見直ししながら固定化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	「色々な人と関わる」という集団の内容を入れながら、個別活動の目標も設定し作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援を行う前に職員同士で役割や内容を確認してから支援に取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後は当日または翌日に職員同士で支援の様子を情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	必ず日々の支援に関して記録を取ることを徹底しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○ 12月開所のためまだモニタリングを実施していません。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	利用者様の支援目標に合わせて、スモールステップできるような活動の提供をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	支援中もお子様の状況に合わせて支援内容を変更しながら自己肯定感を育めるような支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○ まだ会議への参加はありませんが、児発管が参加予定です。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	協力医療機関や相談員と連携し、支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○ 12月開所のため、まだその事例がないが、関係機関の連携は大切なので、必要に応じて実施していきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○ 12月開所のため、まだその事例がないが、関係機関の連携は大切なので、必要に応じて実施していきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研修に関しては機会があれば参加させていただき、関係機関との連携、情報共有を行う。まだ実施はないが、1月に参加予定がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○ 現在はないが、利用者様が増えてきたら、そのようなイベントの計画もしていきたいと考えています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○ 2月に協議会があるため参加予定となっています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援終了後のフィードバックの時間等を通して、支援の様子、家庭での聞き取りを行い、共有理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○ 実施していないので、環境が整い次第実施していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に、詳しい内容について説明させていただいています。今後も、何かご不明点がありましたら、いつでもお聞きください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	引き続き、フィードバックの際にお話を伺ったり、定期的な面談にて保護者様や利用者様のご意向の確認を続けていきます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	支援内容について、保護者様に安心していただけるよう丁寧な説明を心がけ、保護者様からの同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックや、必要に応じて面談の時間も設けながら、助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現在開催はありませんが、必要に応じて開催できるよう準備は進めています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		た場合は、職員間で迅速に対応、共有していきます。体制等も含めながら、再発防止に努めます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram、x、ブログ、LINE等を通して、情報をお伝えしています。今後も活動の様子や予定などをお伝えしていきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		し、厳重且つ丁寧に扱わせていただいています。個人情報漏洩等がないよう職員内でも周知徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚提示を活用しながら、意思疎通や情報伝達の配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所の活動について地域の皆様にパンフレットやSNS等でお知らせさせていただいていますが、招待等は現在実施していません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定しています。また、月に1回、様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		い、職員間での周知徹底をしています。またご利用者様との防災訓練も継続していきます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		配慮が必要なお子様に関しては、職員間で共有し、臨機応変に対応できるよう努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在食べ物の提供の予定はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。今後も安全管理を十分に行い支援を行います。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に安全確保についての説明をさせていただいています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際は迅速に職員で共有し、再発防止に向けて話し合いを行います。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を行い、職員同士で周知活動を進めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		防止のお知らせをしています。支援計画にも記載し、周知に努めています。やむを得ず行う場合には安全確保を行ったうえでの対応	